

1. 活動結果報告

平成 19～20 年度 阿蘇草原再生の取り組み状況

阿蘇草原再生協議会では、各構成員が取り組む草原再生に向けた活動・事業がより効果的に進められるよう、「活動計画案」及び「活動結果報告」の提出を求め、テーマ別の各小委員会と協議会において助言や調整、評価等を行う仕組みをつくっています。

平成 19～20 年度に開催された協議会（第 6 回～第 8 回）に提出され、全体構想に従って承認された「活動計画」は 34 件、そのうち、22 件が平成 21 年 4 月までに活動を終了し、各小委員会や協議会で成果が確認されました。残り 12 件は、実施中または今後実施予定の活動です。

これまでに終了した 22 件の活動結果報告について、全体構想の「取り組みの視点」の項目別に、6 ページ以降に紹介します。

平成 19～20 年度活動計画・活動結果報告一覧

NO.	実施主体（提出者）	事業・活動名	助言・評価を担当する小委員会					実施時期	
			牧野管理	生物多様性	草原環境学習	野草資源	草原観光利用		
賞	1	九州地方環境事務所	牧野組合ごとのカルテ作成支援						H20.12～H21.3
	2	九州地方環境事務所、狩尾牧野組合	野草を守る支援活動						H20.12～H21.3
	3	九州地方環境事務所、新宮牧野組合	輪地切り作業軽減のための小規模樹林除去事業						H21.2～H21.3
	4	九州地方環境事務所、村山牧野組合	村山牧野防火帯作成事業						H21.2～H21.3
賞	5	（財）阿蘇グリーンストック	草原再生に貢献する、あか牛オーナー制度の実施						H20.4.1～H20.11.30
	6	（財）阿蘇グリーンストック	2007 年度 春の輪地切り・野焼き支援ボランティア活動						H20.2.2～H20.5.18
	7	（財）阿蘇グリーンストック	2008 年度 秋の輪地切り支援ボランティア活動						H20.8.31～H20.12.14
	8	（財）阿蘇グリーンストック	2008 年度 春の輪地切り・野焼き支援ボランティア活動						H21.2.14～H21.4.25
賞	9	阿蘇地区パークボランティアの会	草原管理実証試験地の管理（採草・輪地切り・野焼き）作業の支援						H20.7～H21.3
	10	日の尾牧野組合、（財）阿蘇グリーンストック	日の尾牧野・野草地再生（野焼き再開）事業						H20.2.23～H20.6.7
	11	長野牧野農業協同組合、（財）阿蘇グリーンストック	長野牧野・野草地再生（野焼き再開）事業						H20.3.1～H20.4.27
賞	12	九州地方環境事務所、各牧野組合	草小積み作設及び展示（阿蘇草原景観保全事業）						H20.10～H21.1
	13	NPO 法人阿蘇花野協会	阿蘇花野再生プロジェクト						H20.4.1～H21.3.31
賞	14	（財）阿蘇火山博物館	阿蘇の火山体験学習						H20.4.1～H20.11.30
賞	15	国立阿蘇青少年交流の家、九州地方環境事務所	「阿蘇の草原物語 秋編・春編」						H20.10.11～13 H21.2.21～22
賞	16	（財）阿蘇グリーンストック、九州地方環境事務所	阿蘇の草原を守る実践活動！						H20.10.11～15
	17	NPO 法人九州バイオマスフォーラム	阿蘇の草原を守るために「野草紙を作ろう」プロジェクト						H19.4～H21.3

（注）No. 1～22：成果が確認された活動

賞：奨励賞を受賞した活動(P.42 参照)

No.23～34：現在実施中または、今後実施予定の活動

当該活動計画の検討を主に受け持つ

必要に応じて検討・協議を行う



野焼きに欠かせない支援ボランティア



NO	実施主体（提出者）	事業・活動名	助言・評価を担当する小委員会					実施時期
			牧野管理	生物多様性	草原環境学習	野草資源	草原観光利用	
18	九州地方環境事務所	出前講座：おじいちゃんたちが守ってきた「阿蘇の草原」ってすごい！！						H20.4.1～ H21.3.31
19	九州地方環境事務所	草原新聞の発行：阿蘇市郡内の小中学校の児童およびPTA向けの新聞						H20.10～H21.3
20	阿蘇たにびと博物館	谷人ツーリズム（阿蘇たにびと博物館特別展示）						H20.9.11 H20.10.2
21	阿蘇草原再生シール生産者の会	生産者の会による草原再生普及啓発イベントの開催及び野草採草の拡大に向けた調査						H20.7～H21.3
22	阿蘇北外輪トレッキング協議会	草の道の修復、トレッキングロードとしての利用						H20.9～H21.4
23	（社）熊本県畜産協会	国産飼料資源活用促進総合対策事業						H19.4～H22.3
24	阿蘇市役所	草本系バイオマスのエネルギー利活用システム実験事業						H17～H21年度
25	（有）熊本植物研究所	ワクド池湿地再生の取り組み						H20.4.1～ （未定）
26	（有）野外研究所IOE	阿蘇エコツアー（修学旅行）						H20.10.1～ H21.10.30
27	下の道採草組合	「春の牧野まつり」の開催						H21.秋
28	熊本県阿蘇地域振興局 農業普及・振興課	あか牛の流通・消費拡大の取り組み～阿蘇あか牛料理認定店制度						H21.4.1～ H22.3.31
29	阿蘇草原再生シール生産者の会	野草堆肥を利用した農産品の流通拡大に向けた活動						H21.4～H22.3
30	NPO法人九州バイオマスフォーラム	阿蘇の草原を守るために「野草紙を作ろう」プロジェクト						H21.4～H22.3
31	九州地方環境事務所	ぼくたちわたしたち、阿蘇地区子どもパークレンジャーだ！						H21.7～H21.11
32	九州地方環境事務所	出前講座：阿蘇の草原を未来へつなごう						H21.4.1～ H22.3.31
33	草原環境学習小委員会	阿蘇の草原キッズプロジェクト～阿蘇の草原環境学習を通して将来の担い手を育てよう～						H21.4～ H26.3.31
34	草原環境学習小委員会、 国立阿蘇青少年交流の家	「阿蘇の草原キッズ」～日本一の草原キッズになろう！～						H21.9～H21.10

協議会の取り組みによる成果（阿蘇草原再生への貢献）

今回提出された活動結果報告から、利用・維持管理継続により再生、または守られる草原の量を試算することにより、草原再生への貢献度を検証しました。

【放牧・採草利用への貢献】

1年間の放牧・採草利用の面積を試算すると約317haとなります。採草利用については、草小積み作設・展示や農産物生産のための野草たい肥づくりをはじめ様々に利用されていますが、大きな割合を占めたのは、バイオマスエネルギー実験事業（中間報告）によるものです。

放牧（あか牛オーナー制度）で守られる草原面積：約140ha

あか牛オーナー制度による放牧頭数：64頭

牛が採食する草の重量を60kg/日（生草、標準体重600kgの10%）

10a当たり1000kgの生草生産量として試算

採草により守られる草原面積：約177ha

草小積み展示による採草面積：17.5ha

展示された草小積み：175基（1基・10駄=480kg * 1駄=6把、1把=8kg）

10駄で10aの乾草生産量をベースに試算

野草たい肥等への利用による採草面積：25.2ha

阿蘇草原再生シール生産者の会会員の野草使用量：@5,035kg×24=120,832kg

10aで480kgの乾草生産量をベースに換算

草本系バイオマス利用による採草面積：132ha

トラスト地における採草面積：2.2ha

【維持管理面での貢献】

牧野組合管理地やトラスト地内の管理放棄地での野焼き再開や小規模樹林の除去により、草原として復活した面積は77haでした。

また、環境省事業による管理道整備等により、輪地切り延長が約1.8km短縮されるなど、維持管理作業の軽減が図られた牧野組合の総面積は約1,300haとなっています。

野焼き復活面積：約77ha

野焼き再開、樹林除去による野焼き復活面積を含む

輪地切り省力化（防火帯延長の短縮）：約1.8km

管理道整備、樹林地除去による省力化

管理道等整備事業により維持管理作業の軽減が進んだ牧野総面積：約1,321ha

< 牧野の維持管理再開・継続に関連する整備等 >

活動名	作業道整備 延長(m)	小規模樹 林除去 (ha)	野焼き 再開面積 (ha)	草原復活 面積 (ha)	輪地切り 省力化 (m)	牧野組合 総面積 (ha)
野草を守る支援活動	537					503
輪地切り作業軽減のための小規模樹林除去事業		1.97		1.97	1000	265
村山牧野防火帯作成事業	843				843	150
日の尾牧野・野草地再生（野焼再開）事業			60	60		178
長野牧野・野草地再生（野焼再開）事業			10	10		225
阿蘇花野再生プロジェクト（トラスト地）			5	5		
計			75	76.97		1,321

【支援ボランティア等の活躍】

都市住民による草原保全・再生活動は、阿蘇グリーンストックの野焼き支援ボランティアに加え、体験型の草原維持活動支援など、広がりを見せています。

阿蘇グリーンストックの支援ボランティアを中心に、延べ3,600人もの方たちが実際の野焼きや輪地切り・輪地焼き作業に参加しました。その活動により草原維持管理の軽減が図られた牧野の総面積は約5,214ha、阿蘇地域の牧野組合等が管理する草原の24%にあたります。

野焼き・輪地切り等維持管理へのボランティア参加：延べ3,600人・日

ボランティア活動により維持管理軽減が図られた牧野面積：約5,214ha

< 支援ボランティア活動参加者数 >

活動名	支援ボランティア等参加者数(人・日)	備考
草原管理実証試験地の管理作業の支援 (植生調査50人・日を含まない)	237	波野実証試験地3.1ha 一の宮実証試験地6.1ha
2007年度輪地切り及び野焼き支援ボランティア活動	1,281	
2008年度秋の輪地切り支援ボランティア活動	803	輪地切り延長158km
2008年春の野焼き・秋の輪地切り支援ボランティア活動	1,100	野焼き支援面積5,200ha
阿蘇花野再生プロジェクト(採草・搬出含む)	89	トラスト地5ha
阿蘇の草原物語 秋編・春編	70	体験型(小堀91ha)
阿蘇の草原を守る実践活動!	20	支援ツアー(新宮265ha)
計	3,600	

【阿蘇の草原への理解の拡大】

草原環境学習プログラムをはじめ、草原に関する理解・関心を高めるための活動への参加者は、延べ8,700人以上となっています。

対象別では小学生・中学生がそれぞれ35%強を占め、次いで一般が27%。大学生、高校生の割合はそれぞれ1%前後とわずかですが、草原を利用したエコツアー、維持管理活動支援を盛り込んだツアーなど体験型プログラムでは地元牧野の関与・交流が盛り込まれたものが目立ちます。

草原環境学習関連の活動への参加者：延べ8,736人

< 草原環境学習関連のプログラム等への参加者数 >

活動名	参加者計	小学生	中学生	高校生	大学生	一般
阿蘇花野再生プロジェクト(トラスト地観察会)	71					71
阿蘇の火山体験学習	7,000	2,000	3,000			2,000
阿蘇の草原物語 秋編・春編	70			52	14	4
阿蘇の草原を守る実践活動!	20				20	
「野草紙を作ろう」プロジェクト	301	301				
おじいちゃんが守ってきた「阿蘇の草原」ってすごい!!	395	195	128	72		
草原新聞の発行(コンテスト参加者)	497	497				
谷人ツーリズム	36	36				
阿蘇草原再生シール生産者の会によるイベント開催	146	46				100
草の道修復、トレッキングロードとしての利用	200					200
計(人・日)	8,736	3,075	3,128	124	34	2,375
割合(%)	100.0	35.2	35.8	1.4	0.4	27.2